

メソッドごとに使われているカラムを確認しよう！

・ **サンプルガスの適切な分離には適切なカラムの使用が不可欠です**

クロマトで解析する装置で分離機構は心臓部です
適切なカラム、適切な温度での運用をしましょう

Method	Materials	Length _(cm)	Temp	P/N
CHNS	PTFE	200	65	26008215
CHN	PTFE	200	75	26008220
NCS	PTFE	200	65	26008215
S(TCD)	PTFE	80	*	26007800
S(FPD)	PTFE	15	*	26007801
Oxygen	Stainless Steel	100	65/75	26007900
N	PTFE	50	50	26007820
N/Protein	PTFE	50	50	26007820
N/Brew, N-Lubricant	PTFE	100	50	26070004
NC	Stainless Steel	200	50	26007920
NC-Soils	Stainless Steel	200	50	26007920
NC, NC Soils (Argon gas)	Stainless Steel	500	*	26007950

- ・カラムの劣化は主にリテンションタイムの変化として可視化されます、ピーク認識ができなくなったとき、過去のデータと比較して極端に変化しているときは注意してください
- ・硫黄単体・アルゴンガス使用分析での温度設定は個別の資料を参考にしてください
- ・酸素分析用カラムは CHN/O 機では 75°C、CHNS/O 機では 65°Cが基本の設定温度となります